

# 2 | 2 (土)

## 悪に悪を報いる者たち

ヤコブの二人の子、デイナの兄弟シメオンとレビは、それぞれ剣を取つて難なく町に入り、男たちをすべて殺した。ハモルと息子のシェケムを剣にかけて殺し、……。(25、26)

ヤコブの娘デイナは一人で土地の娘のところに出かけたため、男たちの欲情の餌食となり、陵辱されてしまいます。デイナの兄、シメオンとレビは非常に怒り、デイナとの結婚を願うシェケムの一族に対して、町の男たちが割礼を受けるという条件を提示し、その痛みで苦しんでいるところを襲つて皆殺しにします。ヤコブの息子たちは復讐心に駆られ、悪には悪をもつて報いたのです。叱責しようとした父ヤコブは息子たちの反論に遭い、何も言えなくなります。子どもたちを治めるこの出来ない親の姿がここにあります。親たちの信仰の弛みは、子どもたちに対する靈的・道徳的感化力を弱めることにつながっていきます。子どもたちの不祥事に奔走する親たち。聖書の人物たちも例外ではありませんでした。子どもたちの健やかな成長のために、ただ神の憐れみと助けを祈るばかりです。